

第2期 見附市総合戦略のKPI見直しについて

①緑色部・赤字が変更箇所です
②各年度の数値は、「変更前⇒変更後」と表記しています

資料2

項番	基本目標	基本施策	主要事業	具体的な取り組み内容	主要事業の主な取り組み	主担当課	KPI指標	単位	基準値年度	基準値	年度別KPI(上段:目標値/下段:実績)					見直し等	変更理由
											R3	R4	R5	R6	R7		
基本目標1:人と自然が共生し健やかに暮らせるまちづくり																	
※ 該当なし																	
基本目標2:産業が元気で活力あるまちづくり																	
40	2	(1) ②	企業が立地したくなる環境づくりを推進します	新たな工業用地など環境整備を検討し企業の誘致を推進します。	新たな産業団地などの検討	地域経済課	新規進出の奨励企業の新規指定数	社	R1	1	1	1	1	1	内容変更	項番39、40ともに「奨励企業の新規指定数」をKPI指標としている。項番39では制度の活用状況を図る指標として、引き続き「奨励企業の新規指定数」を指標とする。項番40は、今まで見附市に事業所がない新たな企業が市内に進出された数を図る指標とするため、「新規進出の」という文言を加え、指標の意味を明確化する。	
55	2	(3) ②	各種メディアでの観光PRを強化します	リニューアルした観光パンフレット(WEBサイト)により、見附の魅力の情報発信を推進します。	観光広告企画、観光パンフレットリニューアル、SNS情報発信	地域経済課	観光WEBサイトの年間アクセス数	アクセス	R1	72,000	72,000	129,000 →72,000	186,000 →80,000	243,000 →88,000	300,000 →97,000	変更 (下方修正)	観光WEBサイトの集計方法等についてより実態が図れる指標に見直しを行ったところ、見直し後の実績値と目標値が乖離していたため、実績値に合わせた目標値および伸び率等の修正を行う。
基本目標3:安全安心な暮らしやすいまちづくり																	
65	3	(1) ②	雨水幹線整備など市街地の浸水対策を推進します	貝喰川右岸排水区、今町排水区の雨水渠の整備します。	雨水幹線整備、調整池整備など	上下水道局	雨水渠整備延長(年)	m/年 累計 整備 延長	R2	89 →209	200 →409	290 →620	310 →620	今町排水区 調査・設計 →800	今町排水区 調査・設計	内容変更	計画最終年度であるR7年度に、R3年度からの全体的な整備の進捗がわかるようにKPIの単位が「年度別」であった指標を「累計」の整備延長に変更する。
69	3	(2) ①	消防団の活性化を図ります	消防団員の確保対策を徹底し、組織の強化と活性化を図ります。	消防団車両及び装備の充実強化 消防団員の処遇の改善	消防本部	消防団員の実員数	人	R2	554	560	570	580 →500	590 →510	595 →520	変更 (下方修正)	令和5年度に条例定数を改正(600人から520人に減員)し、未活動団員を整理、部の統合を含め、実情に合わせた改編を行なったため、KPIの目標値も変更を行う。
87	3	(4) ④	歩行者と車が共存できる安全に配慮した道路整備を推進します	駅と市内の主要な交流施設を徒歩で結ぶまちなか散策路を整備し、歩くまちづくりの推進を図ります。併せて、路面サイン等にQRコードを埋め込みコースマップをwebサイトで確認できることで、スマホで簡単に参加できる環境を構築します。	歩車道共存整備(まちなか散策路・ゾーン30・グリーンベルト事業)	都市環境課	まちなか散策路の整備箇所数(5年間の累計)	累計 箇所	R2	1	2	3	4 →3	5 →3	6 →3	変更 (下方修正)	現在、3ルート(①見附駅⇄ネーブルみつけ、②ネーブルみつけ⇄ほっとぴあ、③見附駅⇄イングリッシュガーデン)を整備し、駅から主要な公共施設へのルートが整備された状況。今後は、ルートを整備ではなく、既存のルートをいかに活用してもらえるかに施策をシフトするため、変更する。
基本目標4:人が育ち人が交流するまちづくり																	
111	4	(1) ②	医療費助成等により、子育て世代の経済的負担軽減を図ります	妊娠届出日から出産した月の翌月までの保険診療分医療費の一部を助成し、経済的負担の軽減を図り、安心して出産を迎えられるようにします。	子ども医療費や妊産婦医療費の助成、子育て応援カード等	こども課	妊産婦医療費助成延べ件数 →(ア)市民アンケート「子育て世帯への経済的な支援」満足度	件 →%	R1 →R4	1,513件 →61.9	1,500	1,550	1,550	1,600	1,600 →増加	内容変更	妊産婦医療費助成が利用されることで、経済的負担の軽減を図っている一方で、妊産婦の医療費が増加しているという側面もあり、KPIとしては適切ではないため、R4年度に実施した市民アンケートの指標「子育て世帯への経済的な支援の満足度」を抜粋し、KPI指標するもの。